

活動報告書

報告者氏名： 齋藤 環

所属： 小学部

記録日：2013年 2月 25日

【対象児（群）の情報】

・学年

小学部 3年 男子

・障害名

脳性まひによる移動機能障害

・障害と困難の内容

- ・上肢にまひがあり、筆記に時間を要する。また、字形が整わず読みにくい字しか書けない。
- ・その日の出来事や自分の感じたことを文章で表現する経験が少ない。
- ・学習意欲は高く、視聴覚機器を利用することにも関心がある。

【活動目的】

・当初のねらい

iPad を利用して、日記を書くようにして、文章で表現する能力を高める。

・実施期間

2012年 8月 ～

・実施者

学級担任

・実施者と対象児の関係

学級担任

【活動内容と対象児（群）の変化】

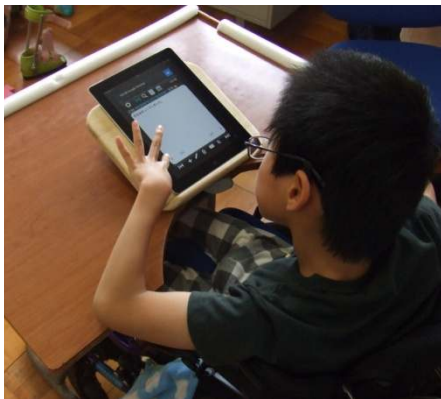
・対象児（群）の事前の状況

漢字の読み方、文章の音読や内容の理解など国語については、小2程度の学力がある。一方で、鉛筆を利用して、ノートに書く学習では、大きなマスにやっと平仮名が書ける程度であった。文章になると、字形が整わないことに加え、文字をそろえて書くことが困難であり、文章で表現して相手に伝えることは困難な状況であった。

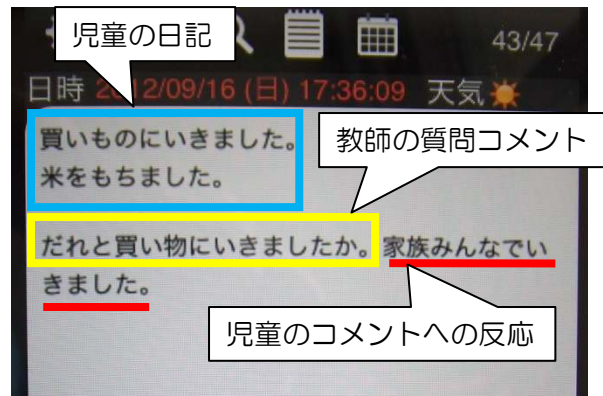
そうして状況であっても対象児の学習意欲は高く、自分なりに一生懸命に文字を書き、相手から質問されると、口頭で内容を伝えるようにしていた。当初はiPadのアプリを利用して指で漢字の書き方について学習をしていたが、作業療法士からアドバイスを受け、「簡単！日記」というアプリを利用して、日記をつける学習に取り組むようにした。

・活動の具体的内容

- ・専用の台を準備して入力しやすいようにした。(図1参照)
- ・「簡単！日記」アプリを利用して、学校での出来事や休日での過ごし方について文章で入力するようにした。家庭で記入したものを学校でアドバイスしたり、質問をしたりしながら、日記の内容を充実できるようにした。(図2参照)



【図1】



【図2】

・対象児（群）の事後の変化

文章で表現することに興味を持ち、毎日、日記をつけることができた。また、日記の内容も身の周りの出来事を記入するだけでなく、「楽しかった」「面白かった」など、自分の気持ちも添えて日記をつけることができたようになった。また、教師からの質問にも、きちんと文章で答えることができた。

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

iPadでの文章入力は、携帯メールのように変換候補が多く出るため、PCでの入力よりもスムーズに行うことができていた。一方で同じ文面の日記になってしまうことも見受けられた。

・エビデンス（具体的数値など）

徐々に日記に記入する文章が増えた。また、自分の気持ちを日記に取り入れることができてきた。

・その他エピソード（画像などを含めて）

- ・国語の詩を作る学習でも「メモ」のアプリを利用してスムーズに入力することができた。
- ・漢字やかけ算の学習のアプリにも進んで取り組むことができた。
- ・「keynote」を利用して、居住地校交流において学校紹介をすることができた。



【居住地校交流の様子】

